校長室だより

丹波市立進修小学校　2025．1．15

2025年のスタートにあたって

今年もどうぞよろしくお願いします

3学期がスタートして1週間がたちました。

先週は体調が悪くてお休みしている子もいましたが、今週は少しずつ休みが減ってきて寒い中でも元気よく過ごしています。お休み中にゆっくりと過ごせたのか、子どもたちは大変落ち着いて過ごしています。始業式やメモリアル集会での全校での話を聞く態度も真剣でした。授業中も話を聞くときは聞く、友だちと話し合う時は課題に向き合う、一人で考えるときは集中して考えるなどメリハリがつけられています。

3学期は、学年のまとめであり、次の学年への準備期でもあります。

始業式には次の3つのお話をしました。

2025年、今年の干支は 「へび」「巳年（みどし）」にあたります。

特に今年は「乙巳（きのとみ）」といって60年に一度めぐってきます。

蛇は昔から知恵や再生の象徴とされてきました。蛇は脱皮をして成長し、新しい自分へと生まれ変わります。努力を重ね、物事を安定させていく年とされています。
このことは私たちも学び、成長することにつながります。

1.自分で考えて行動する へびは、体が細くてしなやかですが、すごく強い力を持っています。へびが生きていくためには、周りの環境にうまく順応しなければなりません。3学期に向けて、どんな困難なことがあっても、しなやかに柔軟に対応し、力強く乗り越え、そのためには、自分で考え行動する力をつけてください。

2．目標をしっかりと見つめる（挑戦）

へびは、前を見つめる力が強い動物です。目標をしっかりと見据え、前に進んでいきます。この３学期、一年の締めくくりでもあり、新しい一歩を踏み出す準備の時期でもあります。この時期に、自分を見つめなおし過去の自分から一歩進んで新しい自分を手に入れる努力をしてほしいと思います。残り少ない時間を大切にし、みんながそれぞれの目標に向かって何か新しい挑戦をするきっかけにしてほしいと思います。

3．周りの人を大切にする へびは、普段は静かで目立たない存在ですが、いざというときにはその力を発揮します。私たちも周りの人々を大切にし、相手の気持ちを想像しどんな言葉をかけたらよいのかを考え続けることが、最も大切だということを忘れないようにしてください。

私たち教職員も、蛇のように自分自身を再生し、成長していくことを意識しながら、この三学期を子どもたちと共に過ごしていきたいと思います。仲間と共に支え合い、高め合っていくことも忘れずにしていきます。

3学期も地域・保護者の皆様のご協力をどうぞよろしくお願いします。